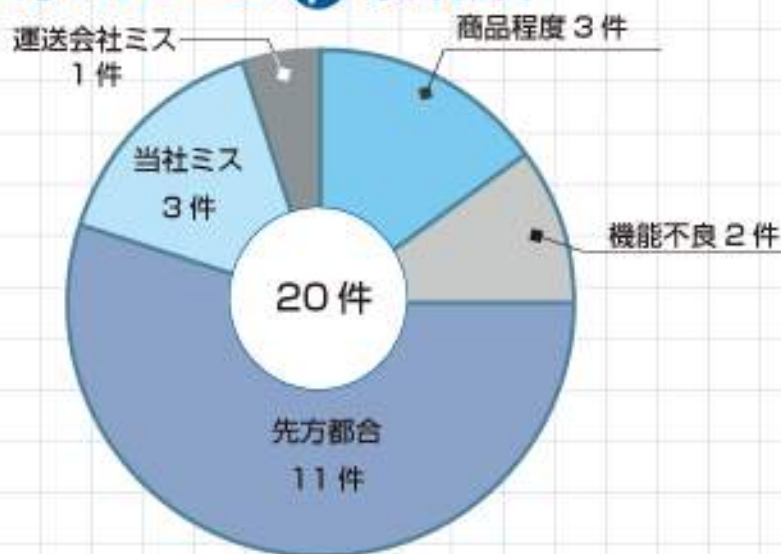


リポートニュース

平成29年5月号 NO.180

困難に出くわした時、チャンスと捉えるか不幸と嘆くかで、人は大きく道を違える。他人のせいにして楽を勝ち取る人も中にはいるだろう。一方、コツコツと取り組み、気が付いたら困難を乗り越えていた、ということもある。自分の生き方はいつでも自分が決められるものだ。困難とは、それを選択するためのステージなのかもしれない。入社して一か月経った今、歯を食いしばっている人がいたら、顔を上げてゆっくり見回してほしい。本物のお手本は必ずいるはず。理想の姿を見つける未来の自分をイメージすると、進むべき方向が見えてくる。
H29.5.2 日刊自動車新聞 視線より

4月のクレーム 集計報告

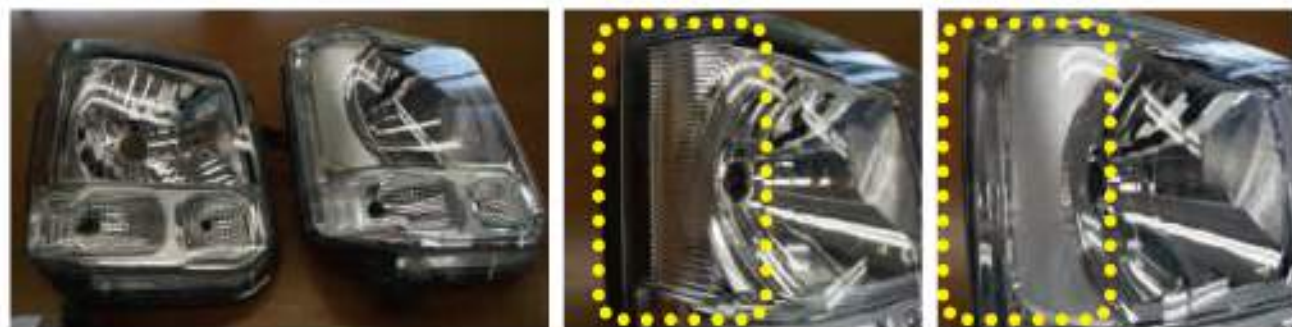


自社主力商品別クレーム (輸出版売はノークレームのため対象外です。)

商品別クレーム	件数	クレーム率	内訳	
バンパー	1件	1/1,405	0.07%	取付ブラケット3つの内2つ欠け有り 1件
フード	0件	0/226	0.0%	
フェンダー	1件	1/700	0.14%	全体に歪みあり 1件
ドア・Rゲート	0件	0/230	0.0%	
ライト	3件	3/1,007	0.30%	液ダレ 1件 AFS不良、点灯不良 各1件
計	5件	5/3,568	0.14%	

豆知識 エブリィバン DA17Vとワゴン DA17W H27.2 ~のヘッドライトの見分け方

エブリィバン DA17V H27.2~ 外よりレンズカット有り
エブリィワゴン DA17W H27.2~ 外よりレンズカット無し (ハロゲン仕様)



左側:エブリィバン
右側:エブリィワゴン

エブリィバンの
レンズカット

エブリィワゴン
レンズカット無し

豆知識 ソリオ MA26S、36S、46Sとソリオバンディッド MA36SH27.8 ~発売中(両車共通)フェンダーの見分け方

ソリオとソリオバンディッドのフェンダーの見た目の形状は同じですが、比較すると二つの違いがあります

- ①先端のバンパーに掛る部分の巾が2cm違います
ソリオバンディッド 27cm > ソリオ 25cm
- ②上面フード寄りの取付ステーの形状と穴の数が違います
ソリオバンディッド 穴2つ ソリオ 穴3つ



奥(シルバー):ソリオ 手前(紫色):ソリオバンディッド
手前:ソリオ 奥:ソリオバンディッド
左側:ソリオ 右側:ソリオバンディッド

H25 ~ H28 年度 アイテム別売上構成比率

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
バンパー	26.0	28.0	27.8	27.1
ボンネット	7.1	7.2	6.3	6.0
フェンダー	14.1	13.2	12.8	12.2
ライト	31.4	32.8	31.0	30.0
その他	21.4	18.8	22.1	24.7

考察

- ・全体的に良質なコアの入荷不足による国内販売の低迷が続いています。一方、その他部品では輸出業者が当社の主力商品以外のグリル・テールなど巾広いアイテムを求めており、しかもB商品群のコアを購入する傾向が強く、その他部品の販売比率が伸びています。
- ・「ヤマト運輸」問題などの行方次第ではリサイクル部品の生命線ともいえる物流コストも大巾な値上りが予想され、バンパーの様な大型商品の影響が懸念されます。
- ・安全支援システムの装着率の向上で今後のコアの発生状況がどの様になってゆか? 難問山積にリノベーターの正念場を迎えている様におもえます。

スタッフ紹介 ライト課クリーニング班 白倉パート社員

それまで女性パート社員だけの職場であったライト課に初めてフルタイムの男性パート社員として入社したのが白倉さんです。ちょうどライトの入荷量も伸び盛りの時期でしたので男手が重宝され、連日ライトの片づけ整理などに追われていました。現在は検品作業を中心にオールマイティに活躍しています。入社13年目のまもなく還暦を迎える元気ハツラツの青年です。趣味は愛車のトヨタ86を乗り回すことです。



全長 165メートル

遠方から来られる外国人バイヤーさんに当社の場所を説明すると「いつも東北自動車の岩槻インター付近で見てるから大丈夫だよ」と言ってもらえます。それならばもっと分かり易くしようと新設した駐車場廻りを中古車センターのようにブルーシートで囲いました。これで国道122号線沿いに面する165mの全容がはっきりして、高速道路からの視野も改善されました。



出荷間際の条件変更のクレーム対策

当日受注の翌日以降の出荷の場合 (PM2:00以降の受注分)、実際に作業に着手する段階になって、検品ミス等が発見され、条件変更の商品や商品化不可能といったケースを招いていました。しかも条件変更の連絡が日を跨ぐ様な長時間経過した後にお客様に連絡するといった不手際なども多発していました。このクレーム対策として、受注書発行→品出し→再検品作業→生産着手の工程の中で、「品出し直後の再検品作業(受け入れ検査)の徹底」を図り、万が一にも条件変更が発生した場合には、いち早くお客様に連絡する体制強化を図りました。ご理解の程よろしくお願い致します。

ホットー息コーヒータイム

「ツバキ文具店」 小川糸著より抜粋

ああしてあげればよかった 無くしたものを追い求めるより、
あんなことを言わなければよかった。 今、手のひらに残っているものを
ずっと後悔しながら生きてきた。 大事にすればいいんだって。
でも、やっと気づいた。